



## 健康一口メモ

仙台市医師会  
広報委員  
菊地 徹

突然に、皮膚に赤いポツポツが出て(発疹)、時に赤く腫れ上がり(膨疹)、耐え難い強い痒み(掻痒)を伴う皮膚疾患が、蕁麻疹です。1カ月以上にわたって膨疹や掻痒を繰り返すものを慢性蕁麻疹として扱います。

種々の刺激によって皮下に存在する肥満細胞が活性化され、ここから放出されたヒスタミンなどの化学伝達物質が血管や知覚神経に作用し、発疹や膨疹、掻痒を引き起こします。

サバやカニ、エビ、蕎麦などを食べた後の蕁麻疹をしばしば経験しますが、こうした食物のアレルギー反応による蕁麻疹は実は意外と少なく、全体の数%に過ぎません。

ほかに、抗生剤(主にペニシリン系)や解熱鎮痛剤(アスピリンなど)、CT検査などで使用される造影剤による蕁麻疹が知られています。また、疲労や睡眠不足、過度のストレス、さらに冷蔵庫など急に寒い場所に入った時、逆に日光に当たるといった時に出現しますが、実際のところ蕁麻疹

### 蕁麻疹(じんましん)のお話

疹症例の4例のうち3例は原因がよくわからないのが実情です。

診断は、皮下に抗原と考えられるもののエキスを少しだけ注射してその反応を見るアレルギー検査により行います。パッチテストと言います。

最近では、食物は元より、カビやダニ、ハウスダスト、花粉のほか動物の毛など、かなりの数の抗原を、採血によって調べることができるようになりました。お心当たりの方は一度検査してみてくださいはいかがでしょうか。

最後に、対処法です。

食物や薬剤など原因となるものを避けることは言うまでもありません。そして、ストレスを回避し、規則正しい生活を送りながら十分に休養をとることを心がけましょう。

薬物療法としては、抗ヒスタミン薬が第一選択薬として著効しますが、場合によっては副腎皮質ステロイドを使用することもあります。

〔菊地胃腸科内科医院

／青葉区春日町〕

#### どれが原因?



仙台商工会議所

# あなたの経営課題を 専門家が解決します!

自社の今後の経営をどうすべきか…。新たな販路を開拓したいが、どう動けばよいのか分からない…。資金繰りが厳しい…。労務について相談したい…。

事業主の皆様のお悩みは、千差万別。中小企業診断士や税理士、弁護士等の専門家が豊富な知識や経験を生かし、皆様の経営全般に関するお悩みを解決へ導きます。

まずは一度、ご連絡ください。

【窓口相談専門家】(10:00～15:00)

- ・菅井 喜悦 (中小企業診断士)
- ・大場 宣英 (中小企業診断士)
- ・米田 正美 (税理士・中小企業診断士)
- ・佐藤 和仁 (税理士)
- ・田中 宏司 (中小企業診断士)
- ・曾我 陽一 (弁護士)
- ・遊佐 慎一郎 (司法書士・社会保険労務士・行政書士)

## 相談無料

※ご利用の際には事前にお電話でご予約ください。

TEL.022-265-8127

■お問い合わせ、ご予約は

仙台商工会議所 中小企業支援部経営支援チーム

〒980-8414 仙台市青葉区本町 2-16-12 TEL.022-265-8127